

安全データシート

作成日：2024年03月01日

1. 製品及び会社情報

製品名：尿石ジェル

会社名：鈴木油脂工業株式会社

住所：大阪府大阪市東淀川区下新庄1-8-23

電話番号：06(6326)1118

FAX番号：06(6326)0181

緊急連絡先：クリーンシステム部

推奨用途及び使用上の制限：尿石除去剤

想定される用途及び当該用途における使用上の注意：

トイレ便器に付着した尿石の除去。適切な保護手袋、衣類及び眼、顔面用の保護具を着用する。局所排気、全体換気を行う。皮膚、眼との接触を避ける。吸入又は飲み込んではならない。取扱い後はよく手を洗う。汚染された衣類を再使用する場合には洗濯をすること。

2. 危険有害性の要約

GHS分類：

金属腐食性化学品：区分1

皮膚腐食性/刺激性：区分1

眼に対する重篤な損傷/眼刺激性：区分1

急性毒性：経口：区分4

急性毒性：吸入(気体)：区分4

呼吸器感作性：区分1

特定標的臓器/全身毒性(単回暴露)：区分1(呼吸器系)

特定標的臓器/全身毒性(反復暴露)：区分1(呼吸器系、歯)

水生環境有害性 短期(急性)：区分2

※上記で記載がない場合の危険有害性は、区分に該当しない又は分類できない。



GHSラベル要素：

危険有害性情報：

危険

金属腐食のおそれ

重篤な皮膚の薬傷及び目の損傷

重篤な眼の損傷

飲み込むと有害

吸入すると有害

呼吸するとアレルギー、喘息、または呼吸困難を起こすおそれ

臓器の障害：呼吸器系

長期間にわたる、又は反復暴露による臓器の障害：呼吸器系、歯

水生生物に毒性

注意書き：

[安全対策]

この製品の使用時には、飲食、喫煙は禁止。
 屋外もしくはよく換気された場所でのみ使用すること。
 環境に放出しないこと。
 換気が不十分な場合、呼吸用保護具を着用する。
 取り扱い後に顔や手など、暴露した皮膚を洗う。
 粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。
 保護手袋、保護衣、保護眼鏡、保護面を着用すること。
 ほかの容器に移し替えないこと。

[応急措置]

眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用
 していて容易にはずせる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
 直ちに医師に連絡すること。
 吸入した場合：被災者を新鮮な空気のある場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休
 息させること
 体調がすぐれない場合、毒物管理センター、医師に相談すること。
 皮膚（または毛）に付着した場合：直ちに汚染された衣類をすべて脱ぐこと/取り
 除くこと。皮膚を流水/シャワーで洗うこと。
 再使用前に汚染された衣類を洗う。
 飲み込んだ場合：口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。
 飲み込んだ後に、気分が悪い場合、毒劇物センターもしくは医師に相談する。
 材料損傷を避けるために、漏出物を吸着させること。

[保管]

施錠して保管。
 耐腐食性/耐腐食性内張りのある容器に保管すること。

[廃棄]

内容物/容器は承認された廃棄物処理場に廃棄すること。

3. 組成及び成分情報

単一製品・混合物の区別：混合物

| 成分名 | CAS No, | 含有量 (%) | 化学式 | 官報公示整理番号 | |
|------------|-----------|------------|-------|----------|-------|
| | | | | (化審法) | (安衛法) |
| 塩酸塩化水素として) | 7647-01-0 | 8.0~9.9 | HCl | (1)-215 | 既存 |
| 増粘剤 | — | — | — | — | — |
| 粘度安定剤 | — | — | — | — | — |
| 非イオン界面活性剤 | — | — | — | — | — |
| 有機酸 | — | — | — | — | — |
| 腐食抑制剤 | — | — | — | — | — |
| ギ酸 | 64-18-6 | 0.5~1.5 | HCOOH | — | — |
| 水 | — | — | — | — | — |

注意：上記記載の—は、不明又は非公開を示す。

4. 応急措置

吸入した場合： 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。気分が悪い時は、医師の手当てを受けること。水でうがいをする事。

皮膚に付着した場合： 多量の水で洗い流すこと。皮膚刺激が生じた場合は医師の診断、手当てを受けること。

眼に入った場合： 水で数分間注意深く洗うこと。医師の診断、手当てを受けること。

飲み込んだ場合： 口をすすぐこと。医師の診断、手当てを受けること。

応急措置をする者の保護： 適切な保護具を着用すること。

5. 火災時の措置： 周囲の火災に適応した消火方法を取る。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項： 作業の際は、適切な保護具（8. ばく露防止及び保護措置の項を参照）を着用し、眼、皮膚への接触やガスの吸入を避けること。

環境に対する注意事項： 流出した製品が河川等へ排出され、環境へ影響を起ささないよう措置を講じること。

封じ込め及び浄化方法・機材：

除去方法：

少量の場合： 乾燥砂・土、オガクズ、ウエス等に吸収させ、極力かき集めて密閉容器に回収する。

大量の場合： 盛り土で囲って流出を防止して、安全な場所に導いてから回収する。消石灰、ソーダ灰で中和してから多量の水で洗い流す。

二次災害の防止策： 付近の着火源となるものは速やかに取り除く。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

取扱い技術的対策： 作業の際は、適切な保護具（8. ばく露防止及び保護措置の項を参照）を着用し、眼、皮膚への接触やミストの吸入を避けること。

局所排気・全体換気： 局所排気、全体換気を行う。

安全な取扱い上の注意事項： 皮膚、眼との接触を避ける。吸入又は飲み込んではいない。取扱い後はよく手を洗う。

保管

保管条件： 容器を密閉して冷所で換気の良いところで貯蔵する。

8. ばく露防止及び保護措置

| 成分名 | 管理濃度(安衛法) | 許容濃度 | | |
|-----------|-----------|--------|--------------|-----------------|
| | | 日本産衛学会 | ACGIH(TLV-C) | ACGIH(TLV-STEL) |
| 塩化水素 | — | 5ppm | 2ppm | — |
| 増粘剤 | — | — | — | — |
| 粘度安定剤 | — | — | — | — |
| 非イオン界面活性剤 | — | — | — | — |
| 有機酸 | — | — | — | — |
| 腐食抑制剤 | — | — | — | — |
| 染料 | — | — | — | — |

設備対策： 局所または全体排気設備を設けること。

呼吸器の保護具： 適切な保護マスクを着用すること。

手の保護具： 適切な不浸透性の保護手袋を着用すること。

眼の保護具： 適切な保護眼鏡を着用すること。

皮膚及び身体の保護具： 適切な不浸透性の保護衣を着用すること。

衛生対策： この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。

9. 物理的及び化学的性質

| | |
|---------------|----------|
| 物理的状態、形状、色など： | 白色の粘稠の液体 |
| 臭い： | 塩酸臭 |
| pH： | 2 未満 |
| 沸点： | データなし |
| 融点： | データなし |
| 引火点： | データなし |
| 発火点： | データなし |
| 爆発限界 | |
| 上限： | データなし |
| 下限： | データなし |
| 蒸気圧： | データなし |
| 相対蒸気密度（空気=1）： | データなし |
| 密度： | 1.0/20℃ |
| 溶解性 | データなし |
| オクタノール／水分配係数： | データなし |
| 分解温度： | データなし |
| 臭いのしき値： | データなし |
| 蒸発速度： | データなし |
| 燃焼性： | データなし |
| 粘度： | データなし |

10. 安定性及び反応性

| | |
|------------|--|
| 安定性： | 通常の使用条件で安定 加熱すると有害な塩化水素ガスを発生する |
| 反応性： | 酸化剤と激しく反応して、有毒な塩素ガスを発生する アミン、アルカリ金属、銅、銅合金、アルミニウム、鉄と反応する ある種の銀化合物と反応して、爆発性の蓚酸銀を生成する |
| 避けるべき条件： | 塩基、酸化剤、金属との接触 |
| 避けるべき材料： | 銅、銅合金、アルミニウム、鉄 |
| 危険有害分解生成物： | 塩素、水素 |

11. 有害性情報

| | |
|-------------------|-------------------------|
| 急性毒性： | 分類根拠 NITE の GHS 分類に基づく。 |
| 皮膚腐食性・刺激性： | 分類根拠 NITE の GHS 分類に基づく。 |
| 眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性： | 分類根拠 NITE の GHS 分類に基づく。 |
| 呼吸器感作性又は皮膚感作性： | 分類根拠 NITE の GHS 分類に基づく。 |
| 生殖細胞変異原性： | 分類根拠 NITE の GHS 分類に基づく。 |
| 発がん性： | 分類根拠 NITE の GHS 分類に基づく。 |
| 生殖毒性： | 分類根拠 NITE の GHS 分類に基づく。 |
| 特定標的臓器毒性（単回ばく露）： | 分類根拠 NITE の GHS 分類に基づく。 |
| 特定標的臓器毒性（反復ばく露）： | 分類根拠 NITE の GHS 分類に基づく。 |
| 誤えん有害性： | 分類根拠 NITE の GHS 分類に基づく。 |

12. 環境影響情報

| | |
|----------|-------------------------|
| 生態毒性： | 分類根拠 NITE の GHS 分類に基づく。 |
| 残留性・分解性： | 利用可能な情報はない |
| 生体蓄積性： | 利用可能な情報はない |
| 土壌中の移動性： | 利用可能な情報はない |

オゾン層への有害性： 利用可能な情報はない

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物： 廃棄においては、関連法規ならびに地方自治体の基準に従うこと。
処理は、石灰乳、苛性ソーダ等のアルカリ水溶液で中和する。
都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者、もしくは地方公共団体がその処理を行っている場合にはそこに委託して処理する。

汚染容器及び包装資材： 都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者、もしくは地方公共団体がその処理を行っている場合にはそこで適切な処分を行う。
空容器を廃棄する場合も都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者、もしくは地方公共団体がその処理を行っている場合にはそこで適切な処分を行う。
空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること。

14. 輸送上の注意

国連番号： 3265
品名（国連輸送名）： その他の腐食性液体
国連分類： クラス 8（腐食性物質）
容器等級： III
国内規制
陸上輸送： 消防法の規定に従う。
海上輸送： 船舶安全法の規定に従う。
航空輸送： 航空法の規定に従う。

15. 適用法令

労働安全衛生法： 皮膚等障害化学物質等（R6.4.1 以降）
塩酸 第 57 条の 2 名称等を通知すべき有害物質
ギ酸 第 57 条の 2 名称等を通知すべき有害物質
PRTR 法： 非該当
消防法： 非該当
毒物及び劇物取締法： 非該当

16. その他の情報：責任の限定について

本安全データシート（SDS）は、現時点で入手できる最新の資料、データに基づいて作成しており、新しい知見により改訂されることがあります。
また、SDS 中の注意事項は通常の取扱いを対象にしたものです。製品使用者が特殊な取扱いをされる場合は用途及び使用方法に適した安全対策を実施の上、製品を使用して下さい。また、当社は SDS 記載内容について十分注意を払っていますが、その内容を保証するものではありません。